

新年のご挨拶



新年あけましておめでとうございます。

昨年は、協議会とユニバーサルデザインフードがさらに拡がりを見せた一年でした。

まず、ユニバーサルデザインフードの状況ですが、登録数は現在1,689アイテム、生産量・金額については13,912トン・165億円で、前年対比はそれぞれ119.0%・122.4%と大きく増加いたしました。また、会員企業数は昨年中に5社の新規加入があり合計で72社となりました。このような新たな企業の加入により、ユニバーサルデザインフードの形態もレトルト食品、冷凍食品はもとより、宅配弁当の分野まですそ野を広げ、利用者の皆様にとっての選択肢をますます増やしているところです。

さて、当協議会では昨年5月にユニバーサルデザインフード利用実態調査を実施いたしました。これは、従来から隔年で継続している一般消費者対象の認知度調査（定点調査）とは異なり、既に「在宅で介護食品を利用している方々」の購買行動を知ることが目的とした調査でした。

この結果、ユニバーサルデザインフードが「どのような食品なのかを知っている」方の割合は全体で31%であることがわかりました（回答数506名）。UDF・とろみ調理食品の購入場所については、「ドラッグストア・薬局」が各々48%、63%と最多となっています。また、使用頻度については、UDFは「毎日（1日に1食）」が25%と最多で、とろみ調整食品は「毎日（1日に3回以上）」が42%と最も高い結果となりました。

一方、この調査結果からは課題も多く浮かび上がりました。例えば、介護食品利用者にあっても認知率がまだまだ低い点、購買主要チャネルでの品揃えが少ない点、売り場での情報不足や味と質の向上・商品ラインナップの拡大が求められる点などです。

協議会は本年、設立から15年目を迎えますが、

これまでの活動経過から会員企業数やアイテム数、生産額等は順風に推移しているところです。しかしながら、今後の活動において、今回の調査に表れた状況を真摯に受け止め、ユニバーサルデザインフードをより多くの皆様にお届けできるよう、会員企業一同一層の努力を行ってまいります。

最後になりましたが、関係各位へ益々のご支援ご協力をお願いするとともに、本年が皆様にとって良い年となりますことを祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

平成28年元旦

日本介護食品協議会会長 森 佳光

【会議、催事等の予定】

1月8日（金）愛国短期大学UDFセミナー（同短大）

1月13日（水）第1回市販用WG（缶詰協会会議室）

1月26日（火）～27日（水）メディケアフーズ展2016（東京ビッグサイト）

1月29日（金）平成27年度事業進捗状況報告会（日清オイリオグループ(株)磯子工場）

【UDF商品登録状況（1,689品目・11月末現在）】

| | 区分1 | 区分2 | 区分3 | 区分4 | とろみ調整 | 合計 |
|------|-----|-----|-----|-----|-------|-------|
| 乾燥食品 | 0 | 2 | 14 | 0 | 83 | 99 |
| 冷凍食品 | 240 | 205 | 582 | 23 | 0 | 1,050 |
| 常温食品 | 101 | 146 | 183 | 109 | 1 | 540 |
| 合計 | 341 | 353 | 779 | 132 | 84 | 1,689 |

【会員の異動（11月）】

計72社（11月末現在）。

◎日本介護食品協議会では会員企業を募集しています。協議会とユニバーサルデザインフードについては事務局までご連絡ください。

事務局：東京都千代田区神田東松下町10-2

翔和神田ビル3階

（公社）日本缶詰びん詰レトルト食品協会内

TEL 03-5256-4801

FAX 03-5256-4805

<http://www.udf.jp/>